

2024年4月24日

各位

会社名 パナソニック ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 楠見 雄規  
(コード番号 6752 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 経理財務・IR部長 和仁古 明  
(TEL. 06-6908-1121)

### 「連結通期業績予想の修正」に関するお知らせ

2024年3月29日に公表しました「パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社の株式の譲渡に関する株式譲渡契約及び株主間契約の締結について」において「精査中」としておりました2024年3月期通期の業績影響が判明しましたのでお知らせいたします。また、決算の進捗を踏まえ、2023年10月30日に公表しました2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結通期業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期純利益	基本的1株当たり当期純利益	(ご参考)調整後営業利益
					円 銭	
前回発表予想 (A)	8,400,000	400,000	455,000	460,000	197.07	400,000
今回発表予想 (B)	8,500,000	360,000	425,000	440,000	188.50	390,000
増減額 (B-A)	100,000	△40,000	△30,000	△20,000		△10,000
増減率 (%)	1.2%	△10.0%	△6.6%	△4.3%		△2.5%
(ご参考)前期実績 (2023年3月期通期)	8,378,942	288,570	316,409	265,502	113.75	314,077

(注 1) 上記の業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

(注 2) 「調整後営業利益」は、売上高から、売上原価と、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

## 2. 連結通期業績予想数値の修正の理由

売上高については、為替が想定よりも円安で推移したことなどにより、上方修正しました。一方、利益については、調整後営業利益として、エナジーの車載電池事業において過去の製造不具合品対応に関する引当計上があったこと、また、その他の損益として、オートモーティブの一部の事業に関連するのれん減損損失(約 100 億円)を計上したことや、持分法損益の悪化及び構造改革費用の増加があったことなどにより、営業利益、税前利益及び親会社の所有者に帰属する当期純利益は、前回見通しを下回る見込みとなりました。

また、上述ののれん減損損失などを計上した結果、「パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社の株式の譲渡に関する株式譲渡契約及び株主間契約の締結について」でお知らせした取引による 2024 年3月期以降の業績影響は、現時点で約 500 億円の損失を見込んでおり、このうち 2024 年3月期の業績に含まれる影響は軽微です。

以 上

本プレスリリースには、パナソニックグループ(パナソニック ホールディングス株式会社およびそのグループ会社を指します)の「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本プレスリリースにおける記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたパナソニックグループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受けるおそれがあります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示されるパナソニックグループの将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。パナソニックグループは、本プレスリリースの日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類およびその他の当社の行う開示をご参照下さい。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、次のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- ・ 米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- ・ 原材料供給・物流の混乱や価格高騰が発生し、または長期化する可能性
- ・ ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービス等のコストおよび価格が影響を受ける可能性
- ・ 金利変動を含む資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- ・ 急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- ・ 他企業との提携または企業買収等で期待どおりの成果を上げられない、または予期しない損失を被る可能性
- ・ パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向 (BtoB (企業向け) 分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む)
- ・ 当社を持株会社とする新体制への移行により期待どおりの成果を上げられない可能性
- ・ 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- ・ 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵、品質不正行為等により費用負担または損失が生じる可能性
- ・ パナソニックグループが保有する知的財産権に対する侵害や第三者の知的財産権を使用する上での制約
- ・ 国内外における現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制に関する規制等の変更・強化 (直接・間接を問わない) がパナソニックグループやサプライチェーンの事業活動に影響を及ぼす可能性
- ・ 気候変動を含む環境問題およびサプライチェーンにおける責任ある調達活動 (人権・労働、安全衛生、地球環境保全、情報セキュリティ、企業倫理等) に関する法規制・政策の導入・強化への対応が不十分となる可能性
- ・ 法規制の導入・強化への対応が不十分となり、制約・費用・法的責任が生じる可能性
- ・ パナソニックグループが保有する有価証券およびその他の金融資産の時価や有形固定資産、のれん、繰延税金資産などの非金融資産の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- ・ 不正アクセスやサイバー攻撃等による、パナソニックグループやサプライチェーンのシステムからの顧客情報・機密情報の外部流出、業務停止、あるいはネットワーク接続製品の脆弱性に起因して多大な対策費用負担が生じる可能性
- ・ 経営戦略の推進に必要な人材の獲得や、在籍している社員の流出防止ができない可能性
- ・ 新型コロナウイルス感染症を含む感染症が、パナソニックグループの事業活動に悪影響を及ぼす可能性
- ・ 多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ・ 大規模な自然災害の発生、感染症の世界的流行、テロ・戦争を含むパナソニックグループの事業活動に混乱を与えうる可能性のある事態の発生